

宮私幼PTAだより

第96号

発行者 連幸者員
行先 佐々木集委
宮私幼PTA編集
事務局
仙台市青葉区分町三丁目6-12
佐正第二ビル6F
電話 (022)263-7040 番



積み重ねた活動からの信頼を 今こそ活かす時へ

宮城県私立幼稚園PTA連合会

会長 佐々木 幸士

例年六月開催の総会が新型コロナウイルスの影響により、中止になったことから、本紙面におきましてあらためて皆さまへのご挨拶を申しあげます。会長職を引き続き務めて参ります。宮城県協議会議員(太白区選出)佐々木幸士でございます。

これまでの皆さまからのご理解とご協力に感謝申しあげますとともに、県内各地域各園の特性と自主性が十分に引き出されるよう幼児教育の振興と質の充実のため、皆さまと一緒に子供達に深い愛情が注がれるための活動を行って参りたいと思います。これからも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申しあげます。

また、今年度の第一回役員会にて当会が主催である「宮城県私立幼稚園教育振興大会並びにPTA研修大会」と「バレーボール大会」は、共に毎年五〇〇人以上が集まる大会であることからコロナウイ

ルスの感染症拡大防止の観点から中止の決断をさせて頂きました。皆さまとの交流・懇親の場ともなる当会としても大変意義ある大会が中止に至ったことにつきまして、苦渋の決断であったことをあらためてご理解頂きたいと存じます。

さて、コロナ禍の状況下における皆さまの不安の毎日と厳しい現場の状況に、一日も早い好転の見通しがつくことを願いながら、会長職における職責、また、私も一人の親として、今できることを考え、活動している毎日でございます。

本年二月二十七日、政府は春休みがあるまで感染拡大を防止するため、全国の小中高校・特別支援学校を臨時休校するよう要請し、宮城県内の大半の学校もその流れに即して休校措置をとりましたが、その後の経過の悪化により、休校措置は五月下旬までの三ヶ月間をわたり継続されることになりました。その間、当然のことながら幼児

教育の現場においても、休園などの対応に各地域、各園におかれまして、難しい判断を強いられました。

何より残念であったのが、大半の幼稚園や認定園において、子供達の成長の発表の場として、一年の中でも大切な行事である卒園式が中止、又は例年とは大分異なる形で行うしかなかったことであります。

コロナ禍の長期化に伴い、大いに懸念していることがございます。誤解を恐れず申しあげたいのは、ウイルスの感染状況以上に拡大している、ネットやSNS上の誹謗中傷やうわさなどの社会的な人間関係や信頼の崩壊が進んでいることでもあります。コロナ禍に対する新しい生活様式が整備されてきた中ではありますが、コロナを「正しく恐れる」気持ちは今、求められていると考えます。未だ収束は見えない状況であり、当会においても保護者も子供達もストレスが溜まっているところではあります。今、一人一人が相手の気持ちに立ち、温かい心が大切ではないでしょうか。

そして、今こそ私達が積み重ねてきた活動による信頼関係でこの厳しい状況を皆さまと共に乗り越えて参りましょう。

最後になりますが、園長先生はじめ教職員皆さま方におかれましては、感染症リスクに不安を抱えながらも、全国一斉休校中の預かり保育の継続や子供達が帰宅後のアルコール消毒等々、そして毎日、子供達と向き合い、健やかな成長のため、お仕事を頂いておられますことに、心より感謝申しあげます。

令和二年度 役員名簿

| | | | | |
|------|-----------------|----|----|-----------------|
| 会長 | 佐々木幸士 富 | 沢P | 委員 | 高橋 明美(研)西多賀P |
| 副会長 | 渡辺 勝幸(広)六 | 郷P | | 山崎麻貴子(研)しらとりP |
| | 深谷 晃祐(研)多賀城高崎P | | | 岩井 望(研)しらとりP |
| | 安川千枝民(広)もみじが丘P | | | ◎村上 織恵(研)夢リストラP |
| | 横澤 行夫(研)お人形社第三T | | | ◎有賀 朋子(研)夢リストラP |
| 監事 | 町田 巳菜(研)西多賀T | | | 渡邊 賢哉(研)夢リストラP |
| | 中山まどか(研)利府聖光T | | | 半澤 和樹(研)登 米P |
| | 瀧田さなえ(広)ふたばP | | | 神成 裕太(広)千手寺P |
| | 大風 未央 宮私幼事務局 | | | 及川奈津美(研)石巻みづほP |
| 事務局長 | 岩山 伸次(体)東 盛P | | | 奥山 麻紀(広)柏 P |
| 常任委員 | 菅原 彰(体)すがわらT | | | 大野さおり(研)熊 野P |
| | ◎佐々木拓真(広)吉ルラルト | | 顧問 | 中野 正志 お人形社第三P |
| | 伊藤 祐子(広)もみじが丘T | | | 中沢 幸男 寛慶院奈天附P |
| | 小松 智子(研)磐石つばきT | | | 〃 〃 〃 〃 〃 〃 |
| | 友川 栄(研)登 米T | | | 〃 〃 〃 〃 〃 〃 |
| | 佐々木恵理(広)千手寺T | | | 〃 〃 〃 〃 〃 〃 |
| | 佐藤 順子(研)石巻みづほT | | | 〃 〃 〃 〃 〃 〃 |
| | 本郷 友道(広)柏 T | | | 〃 〃 〃 〃 〃 〃 |
| | ◎鈴木真知子(広)ふたばT | | | 〃 〃 〃 〃 〃 〃 |
| | 安藤智江子(研)熊 野T | | | 〃 〃 〃 〃 〃 〃 |

お知らせ

今年度予定しておりました「宮私幼教育振興大会・宮私幼PTA研修大会」と「第45回宮私幼PTA親善バレーボール大会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただきます。

来年は感染が終息して、オリンピックと共に、無事に開催できることを願っております。



地区だより

富谷・大和地区

一步踏み出してみよう

成田中央幼稚園(下) 伊藤 尚美

七月末に一泊二日の年長キャンプが泉ヶ岳にて神様の守りの中で行われました。

キャンプは、友だちと寝食を共にし協調性や自立心を養うというねらいの元に学園創立以来四〇年以上ずっと行われてきた行事です。

当日の二日間は梅雨空から奇跡的に太陽が顔を出しまるで頑張る子ども達の為に神様がくれたプレゼントのようでした。

森の探検、川遊び、そしてグレンデの頂上まで駆け登りヤッホーと叫んでみたり、下を見下ろすとそこには小さな街並みが…。その景色はダイナミックでその感動は言うまでもありません。空を見上げながら友だちとゴクゴク飲んだジュースのおいしさは格別でした。森の匂い、風の音、鳥のさえずり等を五感で感じた子ども達。出発時に不安げな表情を覗かせていた子もいつしか友だちと力を合わせて自然を満喫することで次第に笑顔があふれていました。

夕飯のカレーを頂いた後は、お待ちかねのキャンプファイヤー。火の女神が降臨し薪に点火すると暗い森に明るい光が灯され幻想的な光景に…。この光景は大人にな

っても忘れることはないでしょう。

昨今、ゲームやメディアが遊びの中心になりつつある時代に、この貴重な自然体験を通し、協力して一晩過ごすキャンプは、子ども達にとつてこの上ない貴重な体験です。

二日目に「ただいま！」とたくさんのお土産話を抱え、はにかみながら保護者の元へ帰園する子ども達は凛々しく見え、その表情には目を見張るものがあります。まさしく「経験は力なり」。

まずは一步踏み出し行動することが経験に繋がることをこの二日間身をもって体験しました。子ども達そして私達職員も日々

経験によって生かされ、成長させていただいております。これから子ども達が未来へ大きく羽ばたけるよう、一人格として尊重し、命を預かる責務と自覚を心に留め、育んでいきたいと思っております。



子どもたちの未来のために

みやの森幼稚園(下) 小野寺直美

樹々の緑、小鳥のさえずり、広くて高い空、自然をそのまま残したみやの森幼稚園。光と風いっぱい自然豊かな環境の中「今日はどんな楽しいことがあるのだろう」と目を輝かせ、わくわくしながら登園する子どもたち。笑い声が絶えない元気いっぱい幼稚園です。

本園の保育の基本は「個性を尊重し、豊かな心を育むこと」。その一つが園内の広大な自然や飼育されている動物たちとのふれ合いです。幼稚園の自慢の一つに全長三〇〇メートルの遊歩道「トトロの森」があり、子どもたちは散策を楽しみながら想像力を膨らませたり、五感を使った活動や自然物を使った遊びを行っています。またポニーや山羊、羊とのふれあい体験など、年間を通して動植物、自然との関わりを大切にしながら四季の移り変わりを肌で感じられるよう保育を行っています。他にも集団生活のルールを身につける基本として「しつけの三原則」という挨拶、返事、履物を揃えるという三つの約束の大切さを伝えたり、心身と知能の健全な成長のため、段階を踏みながら様々な学びや体験活動が行えるよう、カリキュラムに沿って取り組んでいます。日々子どもたちは様々な体験をする中で、どんどん吸収し学び心身共に成長していきます。

幼児教育は何より生涯にわたる人格形成の基礎を培う大事なものです。楽しい充実した活動が経験

を深め、経験が物事につながり学びとなっていきます。その学びが後の教育や生活の基盤となつていくと考えると身が引きしめる思いです。

今後も夢と希望を持って未来に大きく羽ばたいていける子どもたちを育てていけるよう、尚一層努力していきたいと思っております。



私にとつての役員活動

もみじが丘幼稚園(下) 及川紀三子
過ぎてしまえばあつという間です。気が付けば、息子の年少時から三年続けて役員をさせて頂いていただいています。

毎年、最初の役員会での顔合わせでは、初めて会うお母さん方にドキドキし、どんな一年になるのか、無事に成し遂げられるのか、不安でいっぱいですが、はじめてみると、園でのたくさんの方の行事をひとつひとつ積み重ねていくうちに、会話ははずみ、共に活動する日々は、苦勞も多いですが、私にとつては充実した楽しい時間となっています。そして、一年が終わる

頃には、やつて良かったなあと思うのです。

それから、何より子どもたちの笑顔が力になっています。園で会うと、元気な声で「〇〇くんのおかあさん！」と手を振ってくれる子どもたち。それがとてもうれしいのです。また、園での様子が心配だった我が子が、照れくさそうに手を振ってくる姿を見てホッとするのでした。

役員だからこそ知り得た園行事も多く、子どもたちと同じ時間を過ごせるということは、役員の特権ではないでしょうか。いろいろな行事に携われたことに感謝しています。

役員を通して知り合えた素敵なお母さん方、毎日愛情いっぱい全力で子どもたちに接してくれる園長先生、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度は、コロナウイルスの影響で例年通りの活動はできませんが、我が家にとつて園生活最後の年、役員として精一杯お手伝いしていきたいと思っております。



役員企画のお店やさん